

# 研推だより No.7

令和5年  
5月1日  
研究推進部

## 分科会もスタート！具体的な授業イメージをもって、実際にトライしていきましょう！

先日の第2回研究全体会では、先生方が希望されている分科会に分かれての話し合いを行いました。具体的には目指す児童像の共有と、手立ての具体化です。各分科会での活発な話し合いで、少しずつ実際の授業イメージも膨らんできた方も多いのではないのでしょうか。

また、今年度の話題提案をしていただく授業者の先生方もおおむね決まりました。なんとA授業をしていただく先生がすべて研究推進部ではない先生ということになりました。本校の研究が、研究推進委員だけでなく、校内の全先生方へと共有できてきている証拠だと思えます。また、B授業も10人もの先生が立候補してくださいました。本当にありがとうございます。先生方の熱意に感謝の気持ちでいっぱいです。

この後、研推より指導案の形式や授業までの検討の流れ等をお知らせします。みんなで授業をしていただく先生をバックアップし、授業から参観者のみんなが学ぶ話題提案授業にしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

### ①思考×場面(導入)

- ・教師の発問による児童の気付き
- ・学習問題(資料)との出会いによる思考開始(どのように、どうやって)「どうしてだろう」

#### 目指す児童像

問いをもち、自ら解決しようと進んで考える児童

**A授業：林先生**

**B授業：松田先生、本田先生、小松先生**

### ②思考×方法(追究)

- ・比べることで整理する
- ・混在する断片的知識を取捨選択する思考
- ・様々な思考法の積み重ねによる習得と活用
- ・目的をもった意図的な思考による整理「表にしてみよう」

#### 目指す児童像

自分の考えを意図的に整理して考えることができる児童

**A授業：筧先生**

**B授業：渡部先生、山岸先生、檀原先生**

### ③表現×場面

- ・外部とのつながり、必然性
- ・「外部の方×外部の方×自分たち」のような多様な立場での話し合い

#### 目指す児童像

表現したことから気付きが生まれて、自ら解決しようとする児童

**A授業：竹内先生**

**B授業：松澤先生、田村先生**

### ④表現×方法

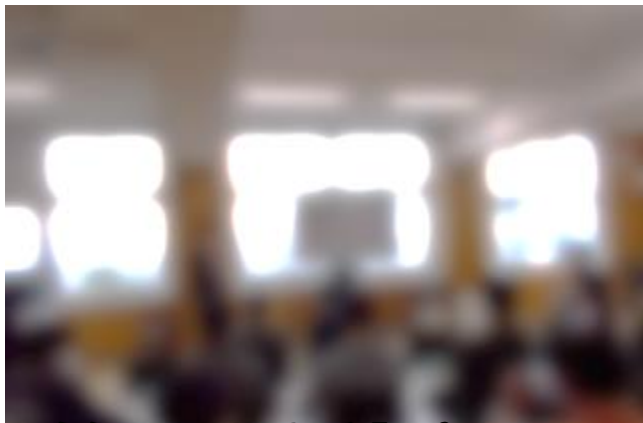
- ・児童自身が表現方法の選択肢をもつ
- ・学習内容や学習方法のふり返りによる認知

#### 目指す児童像

目的や相手に合わせて適切な内容や方法で自分の考えを表すことができる児童

**A授業：横山先生(仮)**

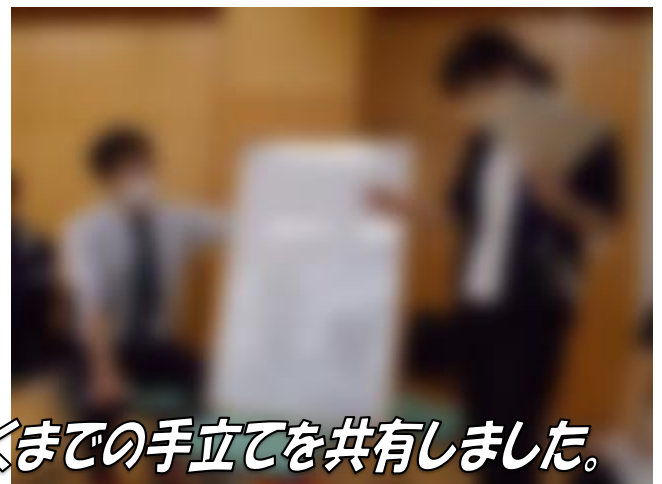
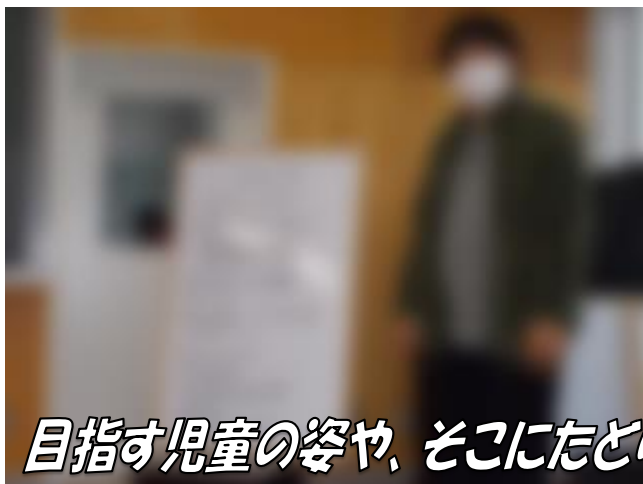
**B授業：阪井先生、中島**



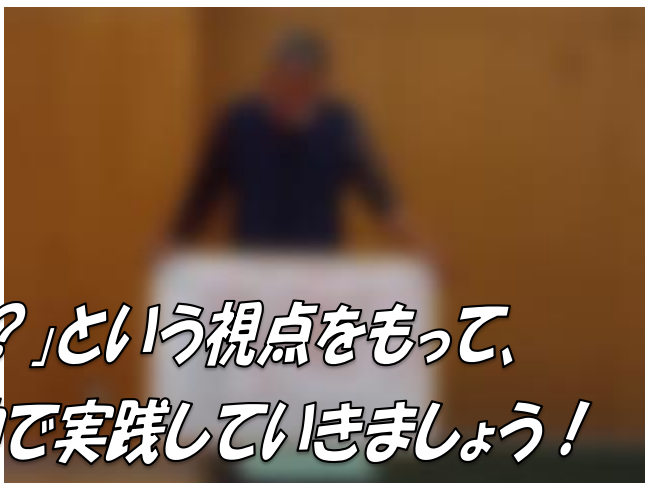
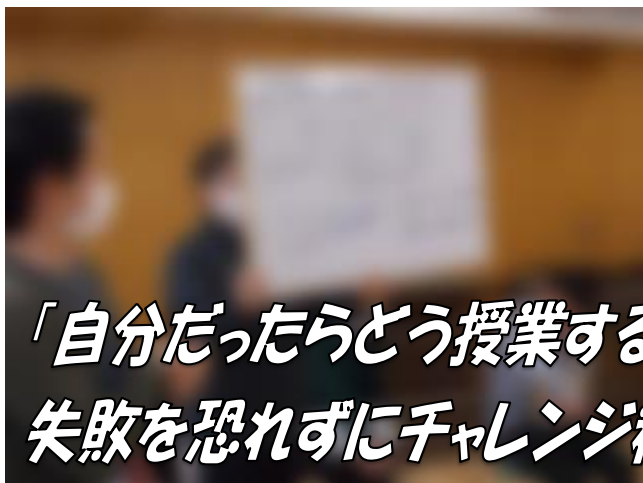
**第2回全体会もありがとうございました！**



**分科会ごとの話し合いもあっという間に  
時間が過ぎるほど自熱しましたね！**



**目指す児童の姿や、そこにたどり着くまでの手立てを共有しました。**



**「自分だったらどう授業するか？」という視点をもって、  
失敗を恐れずにチャレンジ精神で実践していきましょう！**